

作曲家・池辺晋一郎氏がスペシャルゲストと共にユーモアを交えながら楽しい音楽談義をお贈りします。

学びの森・桜ホールならではのアットホームな空間でのトークとゲストによる演奏コーナーは

『早春音楽だよりシリーズ』のみで味わえる魅惑の音楽空間です。

プロフィール



お話 池辺 晋一郎 (いけべ しんいちろう)

43年水戸市生まれ。67年東京芸術大学卒業。71年同大学院修了。池内友次郎、矢代秋雄、三善晃、島岡譲の各氏に師事。66年日本音楽コンクール第1位。同年 音楽之友社室内楽曲作曲コンクール第1位。68年音楽之友社賞。以後ザルツブルクTVオペラ祭優秀賞、イタリア放送協会賞3度、国際エミー賞、芸術祭優秀賞4度、尾高賞3度、毎日映画コンクール音楽賞3度、日本アカデミー賞優秀音楽賞9度(内、3度最優秀賞)などを受賞。97年NHK交響楽団・有馬賞、02年放送文化賞、08年茨城県特別功績者、11年横浜文化賞、15年姫路市文化大賞、19年水戸市文化栄誉賞、20年神奈川県文化賞、04年紫綬褒章、18年文化功労者。現在、東京音楽大学名誉教授、東京オペラシティ・ミュージックディレクター、石川県立音楽堂洋楽監督、姫路市文化国際交流財団芸術監督、せたがや文化財団音楽監督ほか多くの文化団体の企画運営委員、顧問、理事、評議員などを務める。

作品:交響曲 No.1~10、ピアノ協奏曲 No.1~3、チェロ協奏曲、オペラ「鹿鳴館」「高野聖」をはじめ管弦楽曲、室内楽曲、合唱曲、邦楽曲など多数。附帯音楽:映画「影武者」「楯山節考」「うなぎ」「瀬戸内少年野球団」「スパイ・ソルゲ」「バルトの楽園」「剣岳・点の記」「信虎」、TV「未来少年コナン」「濡つくし」「独眼竜政宗」「八代将軍吉宗」など多数の映画・ドラマ音楽の他、演劇音楽約500本を担当。著書に「音のいい残したももの」「スプラッシュ」空を見えていますか・・・1~14」「バッハの音符たち」「モーツァルトの音符たち」等がある。



ギター 鈴木 大介 (すずき だいすけ)

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、アンサンブルとコンチェルトを含む膨大なレパートリーでの、明晰な解釈力と洗練された技術によって常に注目を集める。これまで池辺晋一郎、西村朗、猿谷紀郎、伊佐治直、金子仁美、酒井健治ら現代日本の作曲家による作品の初演を数多く行った他、武満徹による遺作「森のなかで」「ギターのための小品～シルヴァーノ・ブソッティの60歳の誕生日に」「ヴァイオリン、ギターとオーケストラのためのスペクトラル・カンティクル」を世界初録音した。近年はジャズやタンゴのアーティストたちとデュオでの演奏活動や自作品ニョルライブ演奏も行い、また多くの名曲のアレンジは録音やコンサート共に好評で、様々なギタリスト提供・演奏されている。美術作品からインスパイアされたプログラムにも積極的に、これまでに国立新美術館「オルセー展」、ブリジストン美術館「ドビュッシー展」、都立現代美術館「田中一光展」を始めとする多くの美術展でのコンサートを成功

させている。これまでに30作以上ものCDを発表し、いずれも高い評価を得ている。最近作は武満徹編曲によるポピュラー・ソング集「12の歌」を20年ぶりに、「ラスト・ワルツ」の編曲を25年ぶりに収録し、自身によるジャズ・スタンダード・ナンバーやローラン・ディアンス編ニョルシャンソンと併録した『ギターは謳う』。楽譜は現代ギターから「12のエチュード』『キネマ楽園 ギター名曲集』『Daisuke Suzuki The Best Collection for Guitar solo』を発売。2021年2月20日には、武満徹没後25周年を記念して、『武満徹 映画とテレビ・ドラマのための音楽 鈴木大介によるギター編曲作品集』が日本ショットより出版された。マリア・カナルス国際コンクール第3位、アレクサンドリア市国際ギターコンクール優勝。



ギター 賛助出演 松尾 俊介 (まつお しゅんすけ)

パリ国立高等音楽院ギター科を審査員満場一致の首席で卒業。2005年古楽と現代音楽に焦点を当てたファーストアルバム「ヴァリエ 1」をリリースし、トッパンホールにてデビューリサイタルを開催。その後はHAKU!ギターフェスタ、ベオグラード国際ギターアートフェスティバル、サラエボの冬などの音楽祭に招かれるほか、東京オペラシティ「B→C」、東京春音楽祭「東博でバッハ」、ザ・シンフォニーホール「未来の巨匠がつなぐバトンリレーコンサート」シリーズなどに出演。これまでに東京交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団等のオーケストラと共演し、ソリスト、室内楽奏者として、邦楽との共演や新作の初演など多彩な演奏活動を展開している。

2016年に開催された武満徹没後20周年を記念したリサイタル「武満徹へのオマージュ」がNHK-FM「現代の音楽」で放送されたほか、バッハ作品をはじめ多数の編曲を手掛け、2019年には史上初のギター伴奏によるシューベルト「白鳥の歌」全曲演奏が高い評価を得る。一般社団法人地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。



案内役 大野 由加 (おおの ゆか)

洗足学園魚津短期大学音楽科ピアノ専攻を首席で卒業後、同短大初の研究生として研鑽を積み、'86PTNAピアノコンペティション特級の部に於いて全国大会に出場し入賞。併せて前田賞受賞。以後、ソロリサイタルやオーケストラアンサンブル金沢との協奏曲共演、N響コンサートマスター篠崎史紀氏らとの室内楽共演、合唱や声楽、器楽などの伴奏者として幅広い演奏活動を展開。近年は音楽プロデューサーとしても「学びの森音楽祭」(魚津市)をはじめ多数の企画を手がける。'03年石川ITO賞受賞。ピアノを暁道郁子、山本二郎、下村和子、アゴナシュ・ジョルジ、マックス・エッガー、田崎悦子氏に師事。現在、洗足学園音楽大学講師、魚津市音楽コーディネーター、アトリエ・みゅーず主宰。

学びの森交流館 HP

ご入場について

予約制です。表面のご予約方法をご確認ください。

当日は入場ハカキを必ずご持参ください。

事前にお申込みを頂いていない場合は入場をお断りする場合がございます。必ず事務局にお問合せ、お申込みの上お越し下さい。



学びの森音楽祭

2002年6月、旧洗足学園魚津短期大学の校舎を利用し、音楽ほか多目的研修施設に生まれ変わった「新川学びの森天神山交流館」が、新川地区の新しい音楽文化振興の拠点としてより多くの人に愛される施設になることを願い【学びの森音楽祭】が発足しました。富山県・魚津市・市民有志・学校法人洗足学園などの協力の下、夏にはプロ・アマや年齢の制限を設けない「音楽を愛する人のための」音楽セミナー。冬には『池辺晋一郎のゆかいなクラシック講座・学びの森からの早春音楽だより』の2本の柱を中心に、様々なイベントを開催しています。

'13年11月 平成25年度北日本新聞地域社会賞

'17年11月 地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰

「新川学びの森天神山交流館」

〒937-0013 富山県魚津市天神野新147-1 TEL.0765-31-7001

魚津IC、あいの風とやま鉄道 魚津駅よりともに車で15分。

